

総合教育会議の開催について

第1 第13回墨田区総合教育会議の開催について

1 開催日時及び場所

日時 令和2年11月9日(月) 午後3時30分から午後5時10分まで

場所 すみだリバーサイドホール(イベントホール)

2 出席者等

区 分	出席者等
構成員 / 6名	区長、教育長、教育委員4名
区長部局 / 4名	副区長、企画経営室長、政策担当課長、総務部長
教育委員会事務局 / 7名	次長、教育委員会事務局参事(庶務課長事務取扱)、学務課長、指導室長、すみだ教育研究所長、地域教育支援課長、ひきふね図書館長
協議事項の関連部 / 3名	福祉保健部長、子ども・子育て支援部長、子育て政策課長
傍聴人 / 27名	一般18名、区議会議員9名

3 協議事項

墨田区教育施策大綱に係る事業の進捗状況等について

教育施策大綱の「施策の方向」ごとに、事業の実施状況及び今後の計画について確認を行った。

また、教育施策大綱の計画期間の延長及び改定時期の延期について、報告を行った。

墨田区教育施策大綱に係る教育課題について

「GIGAスクール構想に係る学校教育のあり方について」、意見交換を行った。

4 会議での主な発言

GIGAスクール構想に係る学校教育のあり方について

区長	・各学校で、タブレット端末を有効に使い、その活用を積極的に行ってほしい。 ・タブレット端末を、宿題等の家庭学習で成果を出すためのツールとし、家庭学習を子どもたちの生活習慣とすることが、学力向上につながる。
----	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が、タブレット端末を使って授業力の向上を図り、実体験を積み重ねて成功体験につなげ、それを共有してほしい。 ・タブレット端末とノートを併用していくことによって、どのように自分の読解力や理解につなげていくかが課題である。 ・教育長がリーダーシップを発揮して、教育委員会事務局が学校をサポートする体制をしっかり整えてほしい。
教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒が、デジタル社会を生き抜いていくために、ICTを使いこなすスキルを身につけ、社会の変化に対して臨機応変に対応する力をつけてもらいたい。 ・行政は、ビジョンを持ち、データ分析等を行うべきであるが、性急に結果を求めるのではなく、環境を整えることを支援するという姿勢で臨んでほしい。 ・ICTの特徴を認識し、既存の学習方法と併用しながら、個性を伸ばす教育を進めていく必要がある。 ・タブレット端末が、大切な教材であることを児童・生徒に認識させる必要がある。 ・タブレット端末の活用によって、いじめ等が発生しないよう、使用等の明確なルールを作り、慎重に進めていくとともに、個人のセキュリティー管理を、しっかりと行う必要がある。 ・児童・生徒が、効率的に学習ができるようにしていくとともに、自習や予習をする時間を作ることで、非認知能力を育成していく必要がある。 ・児童・生徒を中心とした活発な議論等が、進められるとよい。 ・保護者に対して、学校からタブレット端末について説明し、十分な理解を得る必要がある。また、保護者は、家庭内で児童・生徒に指導等をしていくことが求められる。